

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 1財政調整基金積立金

事務事業番号 12020101

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳				
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源	
財政調整基金積立金		1,084,334 千円	千円	千円	45,963 千円	1,038,371 千円	
財政部財政課							
根拠法令	苫小牧市財政調整基金条例						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。						
事業の必要性	歳入の大幅な落ち込みや災害などの不測事態に対応するため、標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高確保を目標に基金に積み立てます。						
事業の内容	平成29年度末基金残高 3,667,384,142円 平成30年度基金積立金 1,084,333,511円 平成30年度基金取崩し額 1,162,855,575円 平成30年度末基金残高 3,588,862,078円						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (H30年度決算額)	1,084,334 千円	担当正規職員	35 千円	0.005	人		
人件費	35 千円	嘱託職員	千円		人		
総 計	1,084,369 千円	再任用（フル）	千円		人		
		再任用（ハーフ）	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
事業実績 (活動指標)	指標名			単位	H30年度	H29年度	H28年度
	基金の年度末残高			千円	3,588,862	3,667,384	3,223,875
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
自己評価の理由	目標とする残高を確保することができたため、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。						
事業の課題、今後の方向性等	平成30年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、平成29年度末と比較し、約0.8億円の減少となります。また、令和元年度当初予算の財源対策などで約11.2億円の取り崩しを見込んでいるため、差し引くと、実質は約24.7億円の残高となります。今後も安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高は確保していきたいと考えます。						
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 2減債基金積立金

事務事業番号 12020201

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
減債基金積立金		452,795 千円	千円	千円	13,638 千円	439,157 千円
財政部財政課						
根拠法令	苫小牧市減債基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	経済事情の変動等による財源不足や市債の償還額が多額となる場合等の将来に備えて積立を行う必要があります。					
事業の内容	平成29年度末基金残高 2,169,564,065円 平成30年度基金積立金 452,795,431円 平成30年度基金取崩し額 433,924,000円 平成30年度末基金残高 2,188,435,496円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	452,795 千円	担当正規職員	35 千円	0.005	人	
人件費	35 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	452,830 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	基金の年度末残高		千円	2,188,435	2,169,564	1,812,360
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	基金残高を増やすことができ、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う市債の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立が必要と考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 3公共施設整備基金積立金 事務事業番号 12020301

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
公共施設整備基金積立金		15,294 千円	千円	千円	15,294 千円	千円
財政部財政課						
根拠法令	苫小牧市公共施設整備基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	施設の整備に要する経費の財源に充てるため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	老朽化した公共施設の統廃合を含めた更新に備えて積立を行う必要があります。					
事業の内容	平成29年度末基金残高 1,917,131,198円 平成30年度基金積立金 15,294,493円 平成30年度基金取崩し額 51,831,795円 平成30年度末基金残高 1,880,593,896円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	15,294 千円	}	担当正規職員	35 千円	0.005 人	
人件費	35 千円		嘱託職員	千円	人	
総 計	15,329 千円		再任用 (フル)	千円	人	
			再任用 (ハーフ)	千円	人	
			任期付職員	千円	人	
			臨時職員	千円	人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	基金の年度末残高		千円	1,880,594	1,917,131	1,809,871
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	前年と同程度の基金残高を維持できたため、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う事業費の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立が必要と考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 2基金費

目 4総合戦略推進基金積立金 事務事業番号 12020401

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
総合戦略推進基金積立金		105,348 千円	千円	千円	105,348 千円	千円
総合政策部政策推進課						
根拠法令	苫小牧市総合戦略推進基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により定める苫小牧市総合戦略の推進に要する経費の財源に充てるため基金を設置しています。					
事業の必要性	ふるさと納税による寄附金等の積立を行い、苫小牧市総合戦略に位置付ける施策へ充当することにより、事業の推進を図るため必要性の高いものです。					
事業の内容	<p>平成29年度末基金残高 0円</p> <p>平成30年度基金積立金 105,348,000円</p> <p>平成30年度基金取崩し額 0円</p> <p>平成30年度末基金残高 105,348,000円</p>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	105,348 千円	担当正規職員	349 千円		0.05 人	
		嘱託職員	千円		人	
人件費	349 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
総計	105,697 千円	任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	基金の年度末残高		千円	105,348	75,000	0
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	寄附金額の増加により、総合戦略に掲げる4つの寄附金の使い道に充当することができました。					
事業の課題、今後の方向性等	今後も基金の適切な管理に努め、総合戦略推進を図るため継続的に実施していきます。					
特記事項						